

(4) 南 関 東



南関東地域では、景気は一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調が続いている。

- ・ 鉱工業生産は弱含んでいる。
- ・ 個人消費は持ち直しの動きがみられる。
- ・ 雇用情勢は着実に改善している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(は上方に変更、 は下方に変更)

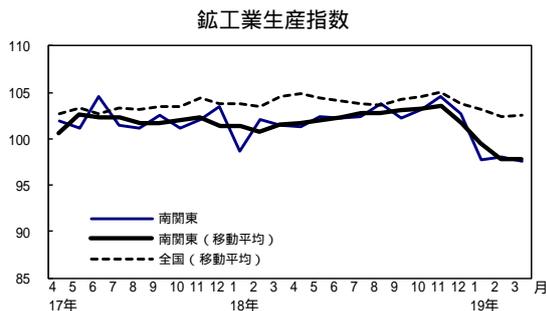
前回からの主要変更点

	前回 (平成 31 年 2 月)	今回 (令和元年 5 月)
景況判断	緩やかな回復基調	一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調
鉱工業生産	緩やかに持ち直し	弱含み

1. 鉱工業生産の動向

鉱工業生産は弱含んでいる。

1 - 3 月期には、「石油・石炭製品、化学、プラ製品」は、減少した。「輸送機械」は、減少した。「汎・生産・業務用機械」は、減少した。「窯業・土石、その他工業」は、減少した。「電子デバ、電気・情報通信」は、減少した。



域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比)(%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		10 - 12 月期	1 - 3 月期	1月	2月	3月
石油・石炭、化学、プラ製品	22.2	0.9	5.4	4.1	1.0	1.9
輸送機械	14.1	1.0	11.2	11.1	2.5	0.9
汎・生産・業務用機械	13.7	0.2	10.7	9.9	1.2	4.0
窯業・土石、その他工業	13.4	0.5	2.3	0.4	1.5	0.2
電子デバ、電気・情報通信	12.6	5.5	4.2	6.7	1.9	1.1
鉱工業	100.0	0.7	5.5	4.8	0.3	0.6

- (備考) 1. 2015 年 = 100、季節調整値。南関東の最新月は速報値。
 2. 全国及び南関東の大線は中心 3 か月移動平均。
 直近月は 2 か月平均。
 3. 南関東は内閣府にて算出。

- (備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い 15 業種。
 2. 1 - 3 月期、3 月は速報値。速報値において化学は医薬品を除いたもの。

2. 個人消費の動向

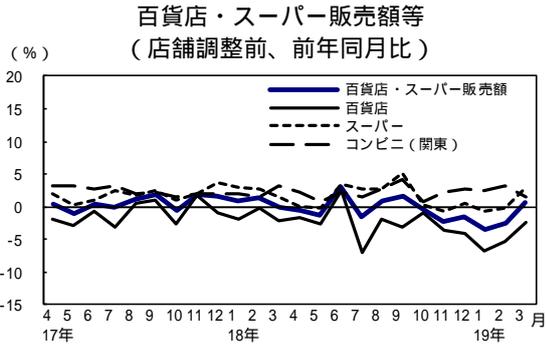
個人消費は持ち直しの動きがみられる。

(1) 地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

1月は前月比0.7%減、2月は同0.7%増、3月は同1.2%減となった。

(2) 百貨店・スーパー販売額

百貨店は、1月は「衣料品」、「身の回り品」、「家庭用品」等が前年を下回った。2月は「衣料品」、「身の回り品」、「家庭用品」等が前年を下回った。3月は「身の回り品」、「その他の商品」が前年を上回ったが、「衣料品」、「家庭用品」等が前年を下回った。
スーパーは、1-3月期は、「飲食料」が好調となり、前年を上回った。



	2019年1-3月	2019年1月	2月	3月
RDEI (消費*1)	0.2	0.7	0.7	1.2
百貨店・スーパー(*2)	1.7	3.4	2.4	0.6
百貨店(*2)	4.8	6.7	5.4	2.4
スーパー(*2)	0.7	0.8	0.2	3.0
コンビニ(*2)	2.3	2.4	3.2	1.5
乗用車(*3)	2.9	0.9	1.9	4.9
(季節調整値)(*3)	5.5	3.2	0.4	2.5

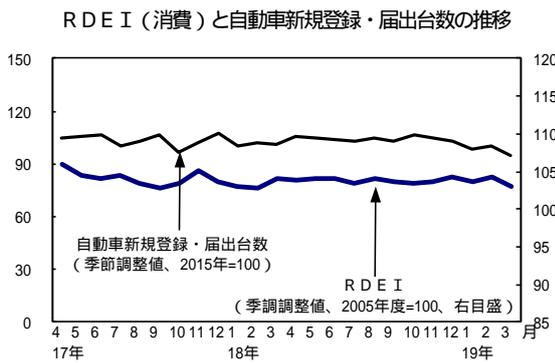
(備考) 1. 季節調整済前期(月)比(%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比(%)

百貨店・スーパー及び百貨店、スーパーは関東経済産業局の東京圏(埼玉、千葉、東京、神奈川)の値。

コンビニは、経済産業省の関東(茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、山梨、長野、静岡)の値。

3. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比(%))



3. 雇用情勢

雇用情勢は着実に改善している。

有効求人倍率は低下している。完全失業率は前期を上回っている。

